

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	青い鳥福祉センター (青い鳥老人ホーム部門)	所管課	長寿社会課
所在地	笛吹市春日居町小松855-192	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年5月1日 (平成16年4月1日)
管理方式	指定管理者((福)山梨ライトハウス、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥福祉センター設置及び管理条例		
設置目的	居室において養護を受けることが困難な高齢者のうち主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため青い鳥福祉センター(青い鳥老人ホーム部門)を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	居室(52室)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務所(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務。 介護保険法第8条第11項の特定入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	県内養護老人ホーム12ヶ所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)	
利用者数	各月の入所者数	4月	49	50	50	50
		5月	49	50	50	50
		6月	50	50	50	50
		7月	50	50	50	50
		8月	50	50	50	50
		9月	49	50	50	50
		10月	49	50	50	50
		11月	49	50	49	50
		12月	49	48	50	50
		1月	49	50	50	50
		2月	50	50	50	50
		3月	50	49	50	50
	利用者数合計		593	597	599	600
目標値		600	600	600	600	
目標値設定の考え方		(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	
対(n-2)年度比		100.0%	100.7%	101.0%	101.2%	
稼働率		98.8%	99.5%	99.8%	100.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	430,823	479,000	471,378	547,000
	指定管理者委託料	162,365,416	163,381,000	163,190,346	168,490,000
	その他	4,005,676	10,826,737	10,805,169	5,594,000
	収入合計(A)	166,801,915	174,686,737	174,466,893	174,631,000
支出	人件費	111,557,634	110,459,000	110,320,155	109,250,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	53,245,052	64,227,737	61,564,156	65,381,000
	(うち外部委託費)(B)	3,007,961	2,721,000	2,594,752	3,550,000
	支出合計(C)	164,802,686	174,686,737	171,884,311	174,631,000
収支差額(A-C)		1,999,229	0	2,582,582	0
外部委託比率(B÷C)		1.8%	1.6%	1.5%	2.0%
利用者一人当りの経費		271,969	272,302	272,438	280,817

5. 利用者満足度

実施方法等	●設備・入浴・健康管理は平成23年2月7日～18日.実施方法:相談員, 支援員が利用者の居室で面接調査を行う。●食事は平成23年2月10～3月31日実施方法:栄養士が利用者の居室にて行う。回答数:50名
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設の設備について	78.0%	6.0%	2.0%	14.0%
②行事等	62.0%	20.0%	4.0%	14.0%
③食事	60.0%	20.0%	6.0%	14.0%
④入浴	72.0%	4.0%	10.0%	14.0%
⑤健康管理	62.0%	12.0%	12.0%	14.0%
⑥利用者のケア	66.0%	12.0%	8.0%	14.0%
⑦金銭管理	82.0%	2.0%	2.0%	14.0%
⑧その他	72.0%	14.0%	0.0%	14.0%
各項目の平均	69.3%	11.3%	5.5%	14.0%

利用者の意見	①外出行事に参加したいが、迷惑をかけるのが心配。 ②年に2回程度個人発表の日を設けてほしい。 ③時間の制限がなくもう少し長くゆっくりと風呂に入りたい。
利用者の意見への対応	①一人でも多くの利用者が参加できるよう、職員を増やす等参加しやすい環境を整えたい。 ②敬老の日や新年会等ホームの行事に発表の日を設けて特技を発表してもらっていますが、さらに多くの発表機会を設けたい。 ③利用者全員が入浴するので、やむなく入浴時間を20分としました。入浴日以外に、毎月1回「湯治の日」も設けておりますので、楽しんでいただきたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。	事業計画に沿った業務が実施されている。
運営業務	事業計画等に基づき、適正に業務を執行した。なお、監査において、就業規則等に一部不備な点の指摘を受けたが、早急に改善を行ったところであります。	事業計画に沿った業務が実施されているが、監査等において指摘を受けることの無いよう、業務遂行されたい。
自主事業	各種の行事については行事計画表のとおり、各事業を実施出来た。利用者は加齢に伴って、事業への参加が少なくなるのではなく、逆に多くなっている。ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。	各種の行事については事業計画に沿った業務が実施されている。ショートステイ事業は適正に業務が執行されている。今後ともショートステイ事業の活用の推進を図られたい。
利用状況	利用定員50人に対して、ほぼ100%の利用率であった。措置者(市町村)からの入所依頼を受け、被措置者の状況を確認する中で入所を決定している。	措置者(市町村)からの入所依頼については、被措置者の状況を確認する中で入所決定が適正に行われている。
収支状況	収入はほぼ前年度並の収入であった。支出は、経費削減に努めたが、施設が6年目をむかえる中で、電球をLED電球に切りかえたり、厨房や空調の修理などを行うとともに、将来に備えて積立にも回した。	計画的な管理運営が行われている、と評価できる。
利用者満足度	利用者の要望については、早急に対応できるところは改善等を行ったところがあります。なお、「行事等」及び「健康管理」の項目が昨年に比べ「満足・十分」の率が落ちているが、行事の一部が雨天のために実施できなかったり、昨年猛暑日が多かったために利用者自身が健康管理が大変難しかったことによるものと思われる。今後とも利用者から要望をお伺いし、より一層のサービス向上に努めて参りたいと思います。	各項目について、昨年度に比べて、利用者満足度評価が落ちているので、原因を分析し、養護老人ホームの目的達成に向け、努められたい。
運営目標の達成状況	入所者が独立心を損なうことなく、平穏な生活が送れるよう生活環境を整備し、生きがいの持てる健全で明るい老後を送れるよう入所者の目線で、入所者の立場に立って支援の充実に努めた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○処遇計画、並びに処遇の記録の更なる充実を図ること。 ○事故発生防止の研修等を定期的に行い、事故防止や事故発生時の対応の取り組みを強化すること。 ○自主事業(ショートステイ事業)については、利用実績の有無にかかわらず必要な事業であるため、今後とも、ショートステイ事業の活用の推進を目指すこと。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○処遇計画、処遇記録については、更にきめ細かく記録していくこととしている。 ○毎月行うケア会議において、事故発生防止の研修等を定期的に行い、緊急時に備える取組みを実施している。 ○ショートステイ事業の周知を図るために、平成23年5月11付けで県内市町村に通知している。現在、甲府市、笛吹市、甲州市と契約を締結している。 	

7. 管理体制(組織図)

